

「学生生活実態調査アンケート(第7回)」の実施結果概要

本学では、学部及び大学院の学生を対象に、学生生活の実態を把握し、今後の修学支援及び学生生活支援等を検討するための基礎資料とすることを目的に、平成17年度より、過去6回(H17、H19、H25、H29、R01、R03)、「学生生活実態調査」を実施してきた。

前回調査より一定期間経過したこと等から、このたび第7回調査を実施した。

1. 調査概要

ア 調査目的

在学する学生の生活環境や学習環境等の現状を把握することにより、今後の修学支援及び学生生活支援等を検討するための基礎資料とする。

イ 調査時期

令和5年4月(令和4年4月～令和5年3月の間の状況を回答)

ウ 調査対象

調査時点(R5.4.1 現在)において、本学に在籍する学部及び大学院の全学生
※ただし、令和5年度入学生を除く

エ 調査方法

各学生は本学学生支援システム「ユニバーサルパスポート」を利用し、web 上で回答(無記名)

オ 調査項目

【基本事項 7項目】(性別、年齢、所属等)

【質問数 40問】

- | | |
|---------------------|-----------------------|
| 1. 授業・学習に関する質問(5問) | 6. 情報の入手方法等に関する質問(4問) |
| 2. 課外活動に関する質問(8問) | 7. 入学に関する質問(2問) |
| 3. アルバイトに関する質問(6問) | 8. 施設、サービス等に関する質問(2問) |
| 4. 日常生活に関する質問(4問) | 9. コロナ禍に関する質問(3問) |
| 5. 悩み・被害等に関する質問(5問) | 10. 自由意見(1問) |

カ 回答数・回答率

回答数 1,760 人(対象者数 4,726 人・回答率 37.3%)

2. 調査結果

「学生生活実態調査アンケート実施結果報告」(別添)及び「調査結果概要」(次頁)のとおり

【調査結果概要(各項目の特徴的な結果を抜粋)】

項目	特徴的な内容等 (※国:国際商経学部、社:社会情報科学部、理:理学部、環:環境人間学部、看:看護学部)	関連頁
授業学習に関する質問	・週5日以上登校する学生は、看 87.8%、理 78.0%、工 75.1%、環 46.5%、国 40.5%、社 37.3%	P. 3
	・8割以上出席の学生は、看 99.4%、環 97.6%、工 96.3%、社 88.2%、理 84.9%、国 83.8%	P. 4
	・1日に2時間以上学習(履修科目に限らない)する学生は、理 30.5%、社 27.5%、環 25.1%	P. 6
	・8割以上の学生が、現在のカリキュラムにある程度満足(「満足」20.9%、「ほぼ満足」60.5%、「不満」2.7%)	P. 7
課外活動に関する質問	・学生の約半数が何らかのクラブ・サークル活動等に参加(「本学体育会系」25.3%、「本学文化会系、自治会他」26.3%)	P. 11
	・学生の約3割がボランティア・社会(地域)貢献活動等の経験あり(男性 24.4%、女性 39.1%)	P. 15
アルバイトに関する質問	・学生の9割近くがアルバイト経験あり(全体 88.8%、男性 84.0%、女性 94.1%)	P. 19
	(経験の有無は学部間で異なる(看 97.4%、環 96.0%、国 94.2%、社 92.4%、工 88.3%、理 84.5%))	
	・アルバイト平均時間が週20時間以上の学生は、国 16.5% と 理 8.8% で倍近い開き	P. 21
	・アルバイトで学業や生活に支障を感じることは「睡眠不足」36.7%(「成績に影響」は6.3%)	P. 24
日常生活に関する質問	・休業期間中の過ごし方は、「アルバイト」63.8%、「趣味等」59.9% に対し「勉学」は29.9%	P. 27
	・1日のSNS平均利用時間(1日3時間以上)は、環 35.3%、看 35.3% が最も多く、工 19.6% が最も少ない	P. 30
悩み被害等に関する質問	・学生生活の悩みは、「卒業後の進路への不安」49.9%、「授業の理解度」22.7%、「経済的な不安」15.3%(「特に悩み等はない」34.0%)	P. 33
	・相談相手は「友人」35.7%、「家族」31.0%(「相談に行ったことがない」46.3%)	P. 35
情報の入手方法等に関する質問	・学生生活に関わる情報の主な入手先は、「ユニバーサルパスポート」84.3%、「友人」45.0%、「学内掲示物」24.5%	P. 41
	・最近のニュースや情報の入手方法は、「ネット(スマホ)」93.0%、「テレビ・ラジオ」39.5%(「新聞・雑誌等(紙媒体)」は、選択肢の中で最も低い8.3%)	P. 43
入学に関する質問	・約8割の学生が、現在の学部・研究科にある程度満足(「満足」29.8%、「ほぼ満足」56.9%、「不満」2.1%)	P. 45
	(満足できない理由:「設備等」19.9%、講義内容等」18.5%、「他大学に入学しかたかった」10.1%)	P. 46
施設、サービス等に関する質問	・設備を充実してほしい既存施設は、「食堂・購買部」56.8%、「学生が集える場所」33.2%、「トイレ」23.6%	P. 49
コロナ禍に関する質問 自由意見等	・不安なことや困ったことは、「授業形態に関すること」21.3%、「学内の友人関係を構築すること・維持すること」が21.1%、「新型コロナウイルスに感染しないか」17.7%、「部活・サークルその他課外活動」14.1%	p. 52
	・経済的な支援策は、約8割の学生が充実・適当と評価(「とても充実」10.8%、「どちらかといえば充実」32.7%、「概ね適当」47.7%) 〔その他要望の主な項目〕 「ネット(Wifi)環境の強化」「自習室・フリースペース等の拡充」「空調機能の改善」「各種施設の(学術情報館、食堂・購買部、自習室等)の休日開放、使用時間の延長等」「ネットを利用した各種情報提供の拡大」「食堂メニューの充実・営業時間延長」「図書の実質」「グラウンド整備」「トレーニング室の充実」「ナイトー設備の設置」「シャワールーム」「喫煙場所」「職員等の対応の改善」等々	p. 54